国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

情報データ科学部

School of Information and Data Sciences
Nagasaki University

情報データ科学部が目指すもの

学部長　西井 龍映

情報データ科学部は、情報科学およびデータ科学を教育・研究する長崎大学の10番目の学部として2020年4月に設置されました。現代において情報・データ（証拠、エビデンス）に基づく合理的な意思決定は社会人にとって必須のスキルです。さらに合理的意思決定を生かすソフト・ハードの開発が我々の生活を便利に、豊かにしてくれます。

長崎大学では、2021年度から本学部が提供する全学教養教育「データサイエンス・統計リテラシー教育プログラム」が、文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）の認可を受けています。さらに本学部の専門科目では、情報抽出から意思決定までの一連の手順を、AI、データサイエンス、機械学習等の手法を用いた「数理モデル」を提案し、その成果を、情報技術（IT）を用いてソフトウェア・ハードウェアといった「もの」として社会に還元する知識・技術を学ぶことができます。

これらの知識・技術は工学などに限らず幅広い分野で求められており、本学部の教員は、基礎から応用まで、幅広い分野を専門とするバラエティーに富んだ魅力的な教育研究に取り組んでいます。

COVID-19の猛威はいまだに続いています。感染症対策の過程で「デジタル化」、「リモート」および「人同士の繋がり」の重要性が再認識されましたが、同時に日本のIT環境が他国に比べて遅れていることが浮き彫りとなりました。日本は高度情報化社会への遅れを取り戻し、次のステージである「人間中心の社会 Society 5.0」構築を目指しています。本学部の設置目的はこの点にあります。

情報データ科学部は、情報・データを科学したい、あらゆる分野のホットな課題に積極的に関わりたい、自らを高めたいと考える皆さんとともに、With/After コロナ社会への貢献を目指します。

一緒に「今にはない、新しい仕事・価値」を作りましょう。

情報データ科学部の特色

描いた将来に合わせて選択できるカリキュラム

- 1年次で基礎を学んだ後、2年次から「データサイエンスコース」または「インフォメーションサイエンスコース」を選択します。
- 選択したコースに関わらず、興味のある科目を選択でき、幅広い分野を修得できます。

医療と観光におけるビッグデータの活用

- 長崎大学の強みである医療・保健分野に蓄積されたデータを用いて、統計的機械学習を基にした解析を行い、医療の支援を行います。
- 長崎には多数の観光客が訪れます。統計学に基づくビッグデータ分析により、彼らの行動の特徴を抽出し、自治体および産業界の発展に繋げます。

社会や企業の問題解決に挑む「実社会課題解決プロジェクト」

- 自治体や地元企業と連動し、在学中から実践的な課題に取り組み、問題解決力やコミュニケーション能力を育成します。
- 地元企業の活性化、地域問題の解消など、学生一人ひとりに課題解決の実体験を得られるチャンスがあります。

養成する人財

様々な分野における中核人財として社会に貢献

情報データ科学部では、情報科学やデータ科学そのもの、またそれらを活かすあらゆる学問領域に興味を持つ多様な学生を歓迎します。この環境で、ビッグデータ解析や医療情報解析に精通した「データサイエンティスト」、人工知能を活用し IT ビジネスに精通した「インフォメーションサイエンティスト」などの実践的な人財を育成します。

※人財…成長が期待できる人、企業が求める人、高度なITスキルを持つ、国や地域にとっての宝となるべき人

カリキュラム構成

1年次

高度な専門知識の基礎をつくる

共通科目

基礎数学・コンピュータ科学・コミュニケーション・プログラミング（C 言語、Python）

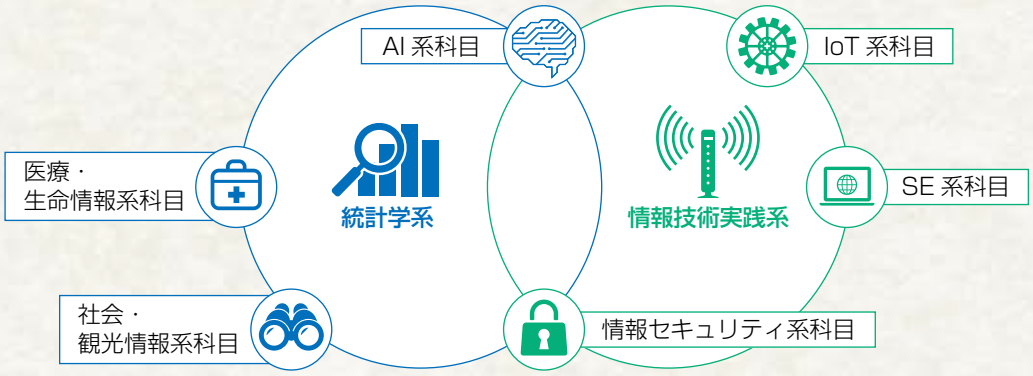
2年次から希望するコースを選択

データサイエンスコース　　インフォメーションサイエンスコース

2～4年次

各コースを理解し専門知識の修得と応用力を高める

専門科目群



選択科目による専門知識の修得・深化

卒業研究

卒業後の進路　様々な分野での活躍 未来の社会創造に貢献

広がる次へのステージ

医療

データで救える命がある

- 創薬
- バイオインフォマティクス
- 医療統計
- 医用画像解析　など

観光

観光を分析し新たな人の流れをつくる

- 観光業（旅行会社、ホテル）
- 地方の活性化、観光政策　など

経営・自治体

ビッグデータから新たなビジネスを

- IT ビジネス
- 経営コンサルティング
- マーケティング
- 政策分析･政策提言　など

システムの開発

社会を支える新しいシステム作り

- 電機
- 通信
- 社会インフラ
- 半導体
- 自動車　など

知能ロボット開発

未来のパートナーを創造する技術

- 介護ロボット
- 福祉ロボット
- 産業用ロボット　など

専門領域の探究、さらなる高みへ　▶　大学院進学（設置予定）

カリキュラム構成・特徴

基礎は同じ、専門の　味付けがちょっと違う

■共通科目では、数学的思考・スキル、コンピュータやプログラミングの基礎、コミュニケーション関連科目で他者との協働などを学びます。これらの科目は２年次に選択するコースに関わらず、全ての学生に必要となります。
■共通科目に加え、必要に応じて「ＡＩ系科目（ＤＳコース必修）」「情報セキュリティ科目（ＩＳコース必修）」を選択することができます。
■２年次に選択するコースで、それぞれに必要となる知識・技術を修得するための科目を学び、専門性を高めます。

DSコース

■コースの特徴
ビッグデータを解析し、社会の発展に貢献できるデータサイエンティストを養成します。

■履修モデル

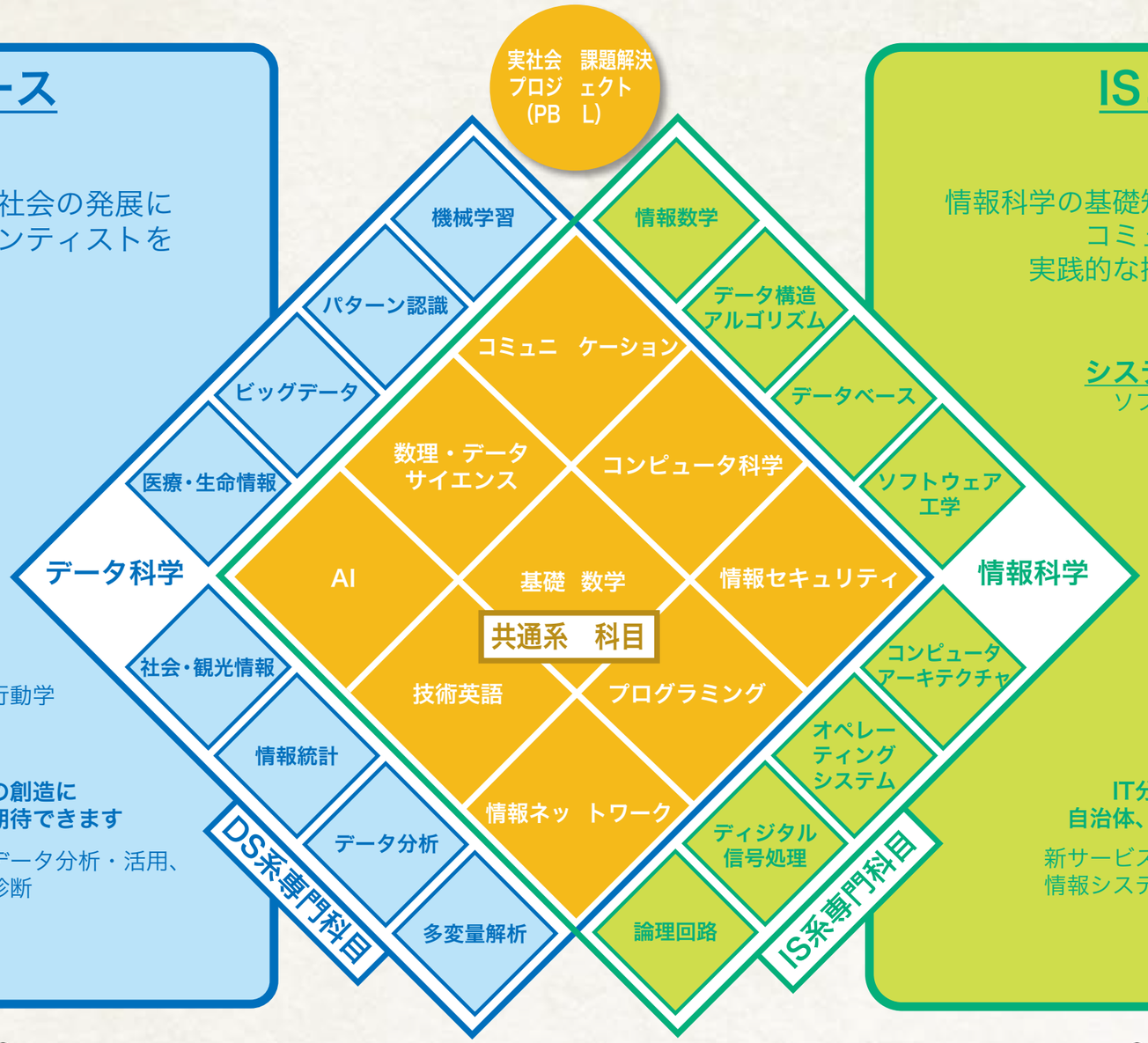
統計学系
探索的記述統計、
情報統計、データ分析演習

AI系
ビッグデータ解析、
統計的機械学習、
人工知能

医療生命系、社会観光系
医療・生命情報学、
バイオインフォマティクス、
社会・観光情報学、社会政策、行動学

■必要とされる分野
様々な問題の解決や新たな価値の創造に貢献する幅広い分野での活躍が期待できます

観光振興・地方創生政策、顧客データ分析・活用、
新薬創出、病理診断、リモート診断



ISコース

コースの特徴■
情報科学の基礎知識から、課題解決能力やコミュニケーション能力などを実践的な授業を通して身につけます

履修モデル■

システムインテグレーション系
ソフトウェア工学、データベース、
コンピュータアーキテクチャ

AIロボット・デバイス系
コンピュータアーキテクチャ、
情報メディア、制御工学、
組み込みシステム

情報セキュリティ系
情報セキュリティ、
情報数学、暗号理論、
情報ネットワーク

必要とされる分野■
IT分野およびITを必要とする企業、自治体、官公庁での活躍が期待できます

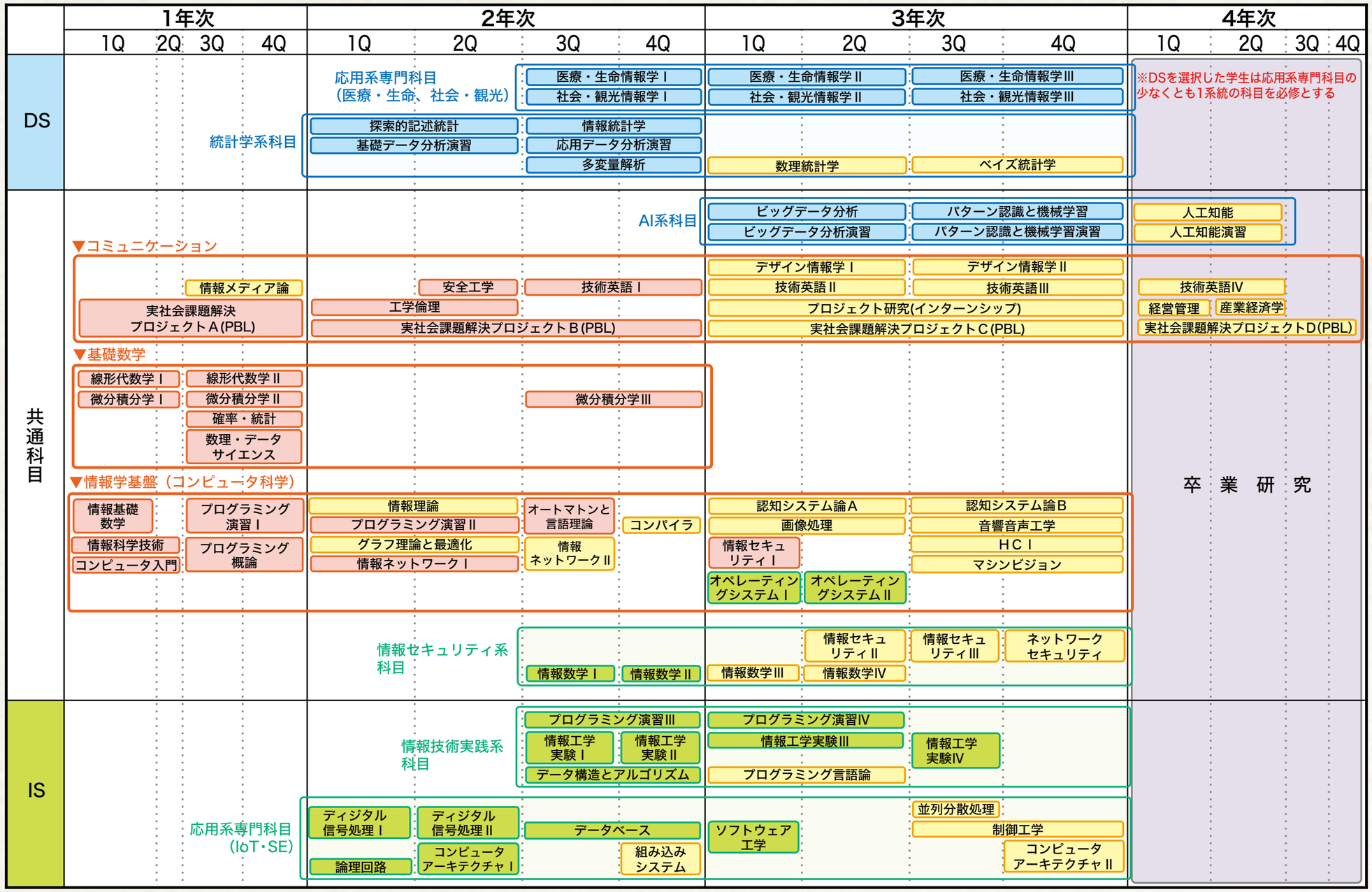
新サービス創成、情報システム企画立案、
情報システム開発、情報セキュリティ推進

カリキュラムマップ

情報データ科学部のカリキュラム構成は、共通科目、データサイエンスコース（ＤＳ）、及びインフォメーションサイエンスコース（ＩＳ）の２コースの科目群で構成され、１年次は全員、専門教育の履修に必要となる「基礎数学」「情報学基盤」及び「コミュニケーション科目」で基礎を固めて、１年次末に所属コース（ＤＳまたはＩＳ）を選択し、それぞれのコースに設定された科目を履修します。

なお、情報データ科学部のカリキュラムは一部を除き、所属コースに関わらず選択履修ができるため、自分が目指す目標・将来に向けて、必要な知識・技術を習得できるカリキュラム構成になっています。

凡例：両コース共通：必修　DSコース必修：IS選択　ISコース必修：DS選択　両コース共通：選択



※上記の専門教育科目のほか、全学教養教育科目（30単位）の修得が必要です。

1年間のスケジュール（予定）

4月
- ●入学式
- ●オリエンテーション
- ●健康診断
- ●前期・第 1Q 授業開始

5月
- ●開学記念日

6月
- ●第 2Q 授業開始

7月
- ●オープンキャンパス

8月
- ●前期定期試験
- ●夏季休業

9月
- ●後期・第 3Q 授業開始

10月
- ●中間発表会（4 年次）

11月
- ●長大祭
- ●第 4Q 授業開始

12月
- ●冬季休業

1月
- ●卒業研究配属説明会・就職説明会（3 年次）

2月
- ●卒業論文発表会（4 年次）
- ●履修コース選択願提出（1 年次）
- ●後期定期試験

3月
- ●履修コース決定（1 年次）
- ●卒業式、学位記授与式
- ●卒業研究着手者・配属研究室決定（3 年次）
- ●春期休業

「実社会課題解決プロジェクト」で実践力をつけよう

情報データ科学部には、「実社会課題解決プロジェクト」という科目が設置されており、１年次から４年次までの４年間、体験的に学ぶことができます。自治体や地元企業と連携し、実際の社会における課題を発見し、解決していくことを目指します。また、本科目を通して「創造性」や「コミュニケーション力」、「批判的思考力」などの普遍的に必要とされる力を身につけ、情報社会で活躍できる人財の育成を目指しています。情報データ科学部で身につけた力を活かして、長崎から発信するイノベーションを一緒に創造していきましょう。

参画事業者・自治体・企業（五十音順）

■株式会社インテージテクノスフィア
■NTT 西日本長崎支店
■NBC 長崎放送株式会社
■カラビナテクノロジー株式会社
■京セラコミュニケーションシステム株式会社
■株式会社クリーン・マット
■株式会社 C&G システムズ
■株式会社シーエーシー
■株式会社島原観光ビューロー
■株式会社セイノー情報サービス
■株式会社ゼンリン
■株式会社デンソーウェーブ
■東京海上日動火災保険株式会社
■（一社）長崎県 e スポーツ連合
■長崎県立長崎図書館・ミライ on 図書館
■株式会社長崎再興
■長崎市産業雇用政策課
■（公財）ながさき地域政策研究所
■長崎トヨペット株式会社
■長崎文化放送株式会社
■株式会社ニーズウェル
■有限会社西九州メディア
■日本コンピュータダイナミクス株式会社
■有限会社白羊社
■ビーウィズ株式会社
■株式会社メディアオーパスプラス
■ユニコネクト株式会社
■株式会社ラック
ほか

学生の声

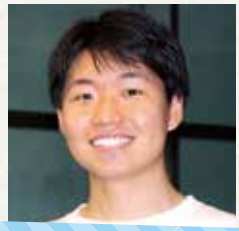
Q1. 情報データ科学部を選んだ理由

データサイエンスに将来性を感じ、この技術を生かして長崎の観光に役立つ研究をしたいと思ったからです。特に、実際の課題解決を体験できる「実社会課題解決プロジェクト」に魅力を感じました。

Q2. 将来の夢は?

いつまでも積極的に学び続け、挑戦し続ける姿勢を忘れずにいたいです。そして、地元長崎で就職し、特に観光の分野で長崎を支える人材になるのが夢です。

情報データ科学部３年
矢嶋　佳織



情報データ科学部３年
久保　航太

情報データ科学部を選んだ理由 Q1.

以前から画像解析や映像メディアなど最先端の技術に興味があり、この分野について詳しく学び、将来に生かしていきたいと思ったからです。

将来の夢は? Q2.

大学での学びや研究活動を生かして、社会における問題や課題を自ら解決していきたいです。特に、構想や企画だけでなく、実際に世の中で役立つ技術を生み出し、それらを自ら実用化まで進めていけることが目標です。

Q1. 情報データ科学部を選んだ理由

映画や建築展示会を通してホログラムと MR 技術に興味を持つようになり、この分野の専門的な知識を深く学び働きたいと思って選びました。

Q2. 将来の夢は?

木のような人になりたいです。成長し続け、芯が強くて柔軟な人です。そして関心の高いホログラムだけでなく、幅広い IT 分野を経験することで、グローバルな人材として活躍していきたいです。

情報データ科学部３年
KIM CHAESEUNG

卒業後の進路

データサイエンスコース

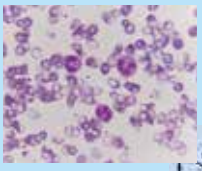
社会・観光情報系

データに基づく観光振興政策、地方創生政策、
旅行代理店業界、新幹線活用観光政策

データに基づく観光振興政策

医療・生命情報系

診断アウトソーシング、新薬創出ベンチャ、
リモート診断サービス、ヘルスツーリズム業界



AI による病理診断

ゲノム解析による
新薬開発

インフォメーションサイエンスコース

システムエンジニア（SE）系

ロボット・IoT を活用した新サービス創成事業
情報産業の振興に関する事業
情報セキュリティ産業、情報システム開発産業

ソフトウェア開発

IoT 系

Robot Process Automation 適用産業、
航空宇宙産業、土木・建設業界、造船産業、
海洋産業

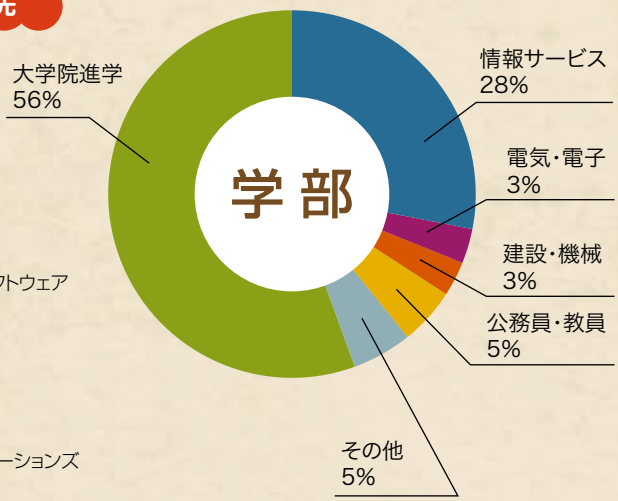
人工知能型
ロボット開発

組込み機器開発

卒業後の進路

大学院生の主な就職先

- 富士通
- パナソニック
- 日立製作所
- 三菱重工業
- 三菱電機
- ニコン
- ソニー
- リコー
- NEC
- 富士フイルムソフトウェア
- デンソー
- マツダ
- トヨタ自動車
- 野村総合研究所
- NTT研究所
- NTT西日本
- NTT コミュニケーションズ
- ゼンリン
- アークレイ



学部生の主な就職先

- 三菱電機エンジニアリング
- 三菱電機インフォメーションシステムズ
- 日立社会情報サービス
- QT ネット
- NTT データ九州
- パナソニックシステムデザイン
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
- 日立産業制御ソリューションズ
- 長崎キヤノン
- スズキ
- 大島造船所
- シティアスコム
- 京セラコミュニケーションシステム
- NTT データ MHI システムズ
- YE DIGITAL（旧安川情報システム）
- インフォセック
- 地方公務員（長崎市役所、福岡県警等）

※2019~2021年度工学部工学科情報工学コース卒業者の統計及び実績です

教員紹介

学部長・教授
西井　龍映
【統計科学、データ科学、環境モデリング、遺伝育種科学】

自然界や企業活動はデータの宝庫です。そこでの課題解決のため統計学や機械学習の手法を利用し開発することが研究目的です。データ科学の醍醐味は種々の課題に対応できるところです。

副学部長・教授
喜安　千弥
【パターン情報処理、パターン認識、画像情報処理、計測工学】

画像などのデータに含まれるパターン情報を、いろいろな方法で処理して利用する研究をしています。医療・工業・地球環境など、さまざまな分野への応用を目指しています。

副学部長・教授
全　炳徳
【リモートセンシング、写真測量、GIS 及び都市計画】

地球表面を宇宙から観測するリモートセンシング技術により、土地被覆や地盤の動き、海や湖の水質などを監視しています。普通のカメラによる写真からも情報を解析し、有用情報を抽出しています。

教授
植木　優夫
【統計科学、生物統計学、遺伝統計学】

遺伝子や生活習慣などの複雑で多様な生物医学データから、データ駆動で疾患リスクの予測や新たな因子を発見するための統計手法を開発しています。

教授
尾崎　友哉
【組込みシステム・ネットワーク、HMI(Human Machine Interaction)、デザイン思考】

組込システムの技術を中心に、より少ないセンサで効率よくデータを収集するデータ収集・分析手法や、人間の特性を考慮したジェスチャー操作や AR 操作などのユーザインタフェースを研究しています。

教授
金谷　一朗
【メディア芸術・感性情報学・デザイン学・文化財科学・文化人類学】

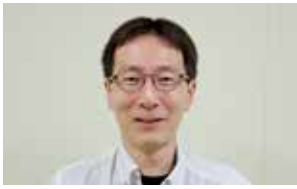
私達は情報データ科学の力を使って、誰もが触れ合える未来のアートを創ったり、人が造った一番古い建物であるエジプトのピラミッドの謎を調べたりすることで、人と物の関係を探求しています。

教授
小林　透
【知能ロボット、Web 技術、IoT、人工知能、情報セキュリティ】

IoT と AI を融合した知能ロボットの研究をしています。例えば、認知症予兆検知ロボット、アオコ自動除去ロボット、沖合養殖ロボット、建物内ナビゲーションロボット等の研究をしています。

教授
柴田　裕一郎
【リコンフィギャラブルコンピューティング、コンピュータアーキテクチャ】

コンピュータそのものの仕組みに興味があり、柔軟で高効率な「やわらかいコンピュータ」の実現に向け研究しています。皆さんも自分の手とアイディアで新しいコンピュータを造ってみませんか?



教授
髙田　英明
【3D 映像、光学デバイス、視覚心理、遠隔コミュニケーション、映像音響メディア】

人と人とのコミュニケーションでは視聴覚情報が重要な役割を果たします。あたかも眼の前に相手が実在するかのような3D 映像音響や HCI 技術を中心に、未来の究極のコミュニケーションを目指します。

教授
宮本　道子
【IT ガバナンス、信用リスク、マーケティング・サイエンス】

事業戦略と IT 戦略の整合性について(企業の IT 投資・IT 利用について、IT ガバナンスからアプローチした研究)、信用リスクにおける中小企業大規模データを使った研究（欠測値に対する対応、コピュラ（複数のリスクを統合した確率分布を推定するための技法）、アンサンブル学習などを応用)、マーケティング・サイエンス(メディアと消費者行動の関連について等)、県民の幸福度、介護職員の満足度など、幅広く研究しています。

教授
持田　恵一
【ゲノム情報科学・バイオデータベース・遺伝育種学】

生き物の細胞の中では、遺伝子やたんぱく質をはじめとする多様な生体分子がネットワークを形成してはたらいています。多様な計測機器を使うことで、こうしたネットワークを構成する多様な生体分子の網羅的なデータの収集が可能になってきました。私たちは、計算機を使って、これらのネットワークの構造を推定したり、環境の変化がネットワークのはたらきにどのように影響するかを理解したりする研究を行っています。

准教授
荒井　研一
【情報セキュリティ、暗号プロトコル、フォーマルメソッド、安全性評価、IoT】

一般利用者が安心して暗号プロトコルを用いたシステムを利用できるように、近年注目されているフォーマルメソッド（形式手法）を用いた安全性評価に関する研究に取り組んでいます。

准教授
一藤　裕
【観光政策、人流解析、ビッグデータ】

IoT から得られる様々なデータを使って、人の動きを可視化したり、データが取れないところを予測するなど、ビッグデータに基づいた現状把握や推定・予測を高精度で実現する方法を研究しています。

准教授
伊藤　宗平
【ソフトウェア工学、形式手法、システム生物学、プロセスマイニング】

ソフトウェアにバグがないことを保証するための技術である形式手法について研究しています。またその技術の応用として生命システムやビジネスプロセスのモデル化や分析にも取り組んでいます。

准教授
梅津　佑太
【数理統計、機械学習、高次元データ解析】

数理統計や機械学習で用いられる手法を理解し実践することはデータ科学の中心ともいえます。よりよく現象を説明するための手法の開発や、その手法の信頼性の評価について研究しています。

准教授
神山　剛
【モバイルコンピューティング、情報センシング、データ科学、分散システム】

人間の行動や社会の動きをデータから理解する技術を作り、一人一人に着目した行動支援から地域社会レベルでの課題解決まで、新たなサービスを提案し、スマートシティの実現に貢献します。

准教授
酒井　智弥
【高次元データ科学、パターン認識、機械学習、信号処理】

データの本質を見抜く「スパースモデリング」とその医工学への応用を研究してきました。さらに深層学習と融合させ、今までの科学や人の知識を生かせる本当のデータ科学を開拓したいです。

准教授
瀬戸崎　典夫
【教育工学、科学教育、ユーザーインタフェース】

VR 技術を活用した学習コンテンツを開発し、その効果を検証します。また、学習者にワクワク感を提供するだけでなく、学生さんたち自身がワクワクしながら研究し、学ぶことを大切にしています。

准教授
高橋　将宜
【統計科学、計量政治学、統計的因果推論、欠測データ】

長崎県への観光客を増やすには、どうすればよいでしょうか?ある要因 Y（結果）を変化させるには，別の要因 X（原因）を操作します。データから因果関係（原因と結果の関係）を推測する方法を研究しています。

准教授
原澤　隆一
【計算代数、暗号理論、整数論】

情報を安全に通信・処理するためには、暗号技術が必要不可欠です。そして、数学の理論を基にした暗号方式が多数存在します。暗号への応用を視野に入れ、計算機の側面から数学を研究しています。

准教授
藤村　誠
【AR・VR 応用、画像処理、福祉工学】

VR、AR の技術が一般的になり、多種多様な応用が模索されています。私たちはリハビリテーション医療の応用を研究しています。また、画像・映像コンテンツの電子透かしについて研究しています。

准教授
松本　拡高
【バイオインフォマティクス、ゲノム生物学、機械学習】

生命科学における実験技術の進歩は目覚ましく、大規模かつ多様なデータが計測されるようになりました。これら生命情報データを数理・情報科学の視点から研究し、生命現象の理解を目指します。

准教授
宮島　洋文
【機械学習、ファジィ推論法、簡易秘密計算法、並列処理】

クラウドコンピューティングはさまざまな分野で用いられています。機械学習について、計算手順を改良することで、クラウドコンピューティングに適した機械学習の実現を目指します。

助教
加葉田　雄太朗
【特異点論、曲線・曲面論、応用特異点論】

数学はデータ科学や身の回りの物事と密接に関連しています。生活に潜む生き生きとした数学を見つけることもテーマにしながら、特異点やグニャグニャと曲がった図形を研究しています。

助教
北村　史
【教育コミュニケーション、授業設計、ワークショップ】

他者と関わり合いながら学び成長する実践をフィールドとして、より良い学びの場の設計を考えています。また、コミュニケーションにおける身体の役割を念頭においた開発にも興味を持っています。

助教
薗田　光太郎
【音響情報ハイディング・エンリッチメント、聴覚情報処理、音響信号処理】

ヒトの音の聴こえかたを AI との違いという観点で研究しています。AI が生音のようなきれいな音を作れるようになりました。AI が生音に似せてつくったなりすまし音を見破れるよう頑張ります！

助教
高田　寛之
【確率過程論、待ち行列理論、トラフィック理論、機械学習】

これまで渋滞を対象に確率論を使って予測や制御するための研究していました。今後は、より対象を広げて、確率論と機械学習の方法を組み合わせて、未来予測や制御に役立てたいと思っています。

助教
眞邉　泰斗
【リコンフィギャラブルコンピューティング、FPGA、リアルタイム画像処理、機械学習】

自由に構成を変えられる「やわらかいコンピュータ」と、その特性を活かした処理方法（アルゴリズム）を組み合わせて、画像の高画質化や物体認識といった様々な処理を、高速、低遅延に行える仕組みを研究しています。

助教
ムトゥ スバシュ カビタ
【知能情報学、ディープラーニング、機械学習】

医療や画像のパターン解析において、人工知能の能力を人間の知能に近づけるための戦略を模索することに興味を持っています。

各教員の詳しい研究内容などは、ウェブサイトをCheck▼

令和５年度入学者選抜に関する情報

入学定員

120名

募集人員

- 一般選抜（前期日程）７５名、（後期日程）１５名
- 学校推薦型選抜Ⅰ ８名、学校推薦型選抜Ⅱ １２名
- 外国人留学生選抜Ａ（一般枠）５名、Ｂ（推薦枠）５名、Ｃ（国際バカロレア枠）若干名

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等		
教科	科目	配点	教科	科目	配点
国	国	100	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ	250
地歴公民	世界史Ｂ, 日本史Ｂ, 地理Ｂ,「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,「倫理，政治・経済」から１	50（注１）			
数	数学Ⅰ・数学Ａ 数学Ⅱ・数学Ｂ	200	理	「物理基礎，物理」,「化学基礎，化学」,「生物基礎，生物」,「地学基礎，地学」から１	250
理	物理，化学，生物，地学から２	200			
外	英	150（注２）	外	英	100
			その他	ペーパー・インタビュー	30
				調査書	20
【5教科７科目】合　計		700	合　計		650

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等		
教科	科目	配点	教科	科目	配点
数	数学Ⅰ・数学Ａ 数学Ⅱ・数学Ｂ	200	数	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ	200
理	物理，化学，生物，地学から２	200			
外	英	200（注２）			
			その他	ペーパー・インタビュー	30
				調査書	20
【3教科５科目】合　計		600	合　計		250

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等		
教科	科目	配点	教科	科目	配点
	なし	－	その他	面接（口述試験）	200
			合　計		200

学校推薦型選抜Ⅱ

大学入学共通テストの利用教科・科目			個別学力検査等		
教科	科目	配点	教科	科目	配点
数	数学Ⅰ・数学Ａ 数学Ⅱ・数学Ｂ	200	その他	課題作文	100
理	物理，化学，生物，地学から１（注３）	100		面接	100
外	英	100（注２）			
【3教科4科目】合　計		400	合　計		200

（注１）地歴・公民を２科目受験している場合は、第１解答科目を採用する。
（注２）外国語（英語）の配点（200点満点）は、「リーディング（100点満点）」と「リスニング（100点満点）」の１：１の比率となっているが、「リーディング（160点満点）」と「リスニング（40点満点）」の４：１の比率に変更し、その合計得点を各選抜における外国語（英語）の配点に換算する。
（注３）理科を２科目受験している場合は、第１解答科目を採用する。

※令和６年度長崎大学入学者選抜方法等の変更点について（予告）
一般選抜に関して、選抜方法を「選抜方法Ａ（文系受験）」及び「選抜方法Ｂ（理系受験）」での選抜へ変更します。各選抜に関する詳細な情報は、「入学者選抜要項（大綱）」及び「学生募集要項」をご覧ください。

JR をご利用の場合

JR 長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

●浦上駅から路面電車をご利用の場合●

「浦上駅前」から「赤迫（あかさこ）」行き乗車
「長崎大学」で下車（所要時間／約 10 分）

●浦上駅からバスをご利用の場合●

「浦上駅前」から「滑石（なめし）・時津（とぎつ）」等方面行き乗車
「長崎大学前」で下車（所要時間／約 10 分）

高速バスをご利用の場合

浦上経由長崎方面行きバス「昭和町（しょうわまち）」で下車し、徒歩で長崎大学東門まで約 15 分あるいは長崎大学正門まで約 20 分

航空機をご利用の場合

長崎空港（大村市）から浦上経由長崎方面行き長崎県営バス「長崎空港リムジン」で「長大東門前（ちょうだいひがしもんまえ）」で下車（所要時間／約 50 分）し、徒歩で約３分

国立大学法人 長崎大学 NAGASAKI UNIVERSITY
情報データ科学部
ウェブサイト　公式 Youtube　Facebook
〒852-8521　長崎県長崎市文教町 1-14　TEL:095-800-4101